

令和2年中(1月～12月)の自動車の盗難関係

1 自動車盗認知数・検挙数

| 認知件数(件) | 検挙件数(件) | 検挙率(率) |
|---------|---------|--------|
| 10 | 9 | 90.0% |

2 自動車盗発生場所

| 順位 | 発生場所 | 認知件数 |
|----|------------|------|
| 1 | その他の会社・事務所 | 5 |
| 2 | その他の発生場所 | 2 |
| 3 | 一戸建住宅 | 1 |
| 4 | 道路上 | 1 |
| 5 | 資材置き場 | 1 |
| 合計 | | 10 |

※その他の発生場所とは建物等分類するものがない畑等

3 被害自動車の施錠状況

| | |
|------------|----|
| 認知件数 | 10 |
| 自動車盗(キーあり) | 8 |
| 自動車盗(キーなし) | 2 |

※約8割の方がエンジンキー付きで盗難に遭っています。

4 自動車盗被害回復数・被害回復率

| | 認知件数 | 被害回復数 | 被害回復率 |
|------|------|-------|-------|
| 自動車等 | 10 | 3 | 30.0% |

5 盗難対策の基本

- エンジンキーを付けたままにしない。
車を離れる際はエンジンキーを抜き窓を閉めドアロックする。
- 車内に貴重品を放置しない
車内に貴重品を置いたままにしない。
- 駐車場の防犯対策の確認
防犯灯、防犯カメラ設置等の駐車場を利用する。
- 盗難防止機器の使用
バー式ハンドルロック、警報器等を活用する。
- イモビライザ装備車
キーから発信されるIDコードを車両本体のCPが照合し合致しないとエンジン始動ができないシステム装備車。